

諏訪保育園

所在地 豊川市諏訪3丁目118
開設年月日 昭和44年6月1日



《あゆみ》

国府、牛久保、みどりの各園とともに、市内で一番歴史の長い保育園で昭和23年7月『豊川寮保育所』として開園し、同胞援護会豊川母子寮の子どもと近隣の子ども30人を集め、保育が始まりました。当時の園舎は、豊川寮の園舎を改造し、杉皮葺き、ガラス窓や天井もなく、床は荒削りで内壁もない粗末な建物でした。昭和30年旧海軍工廠の寄宿舍を移築し、定員80名に、昭和40年には旧三上小学校校舎を移築増築し、定員140名となりました。経営母体も、同胞援護会豊川支部から、豊川市公共福祉事業協会、豊川社会福祉会、豊川市福祉協議会と変遷を経て、昭和44年6月に豊川市保育協会設立とともに本協会に引き継がれました。昭和52年には、保育需要の増加とともに園舎老朽が目立ち、鉄筋コンクリート2階建てに改築されました。平成8年は180名⇒平成9年は190名と増加した定員も、少子化が進むにつれ平成11年には160名、平成12年には150名と減少し、平成21年には定員130名となり、一時預かり事業も始まりました。また、平成15年には園舎西側の道路拡張により、非常階段がプール脇に移転し、その分園庭が広くなりました。

《保育目標と方針》



- ◎よく遊ぶ子ども
- ◎優しい子ども
- ◎考える子ども



年齢や発達、季節に応じた環境づくりをし、子どもの心を理解し、明るい笑顔、明るい言葉、明るい姿勢で深い愛情を持って保育しています。

保護者と手を取り合い共に歩み育んでいける様な、歩育・共育をしていきたいと思っています。

《特色》

豊川市の中心部に位置し、近くには商業ビルブリオ、消防署、体育館、郵便局、勤労福祉会館、保健センター等、公共施設が多くあり、様々なイベントに招かれています。通園区域には、県営住宅、工業団地、商店街が多いのが特徴です。また、女性の社会進出により、早朝、時間外保育希望者が多くなり、未満児や校区外、外国の子ども多数入所し、一時預かり事業も実施しています。子どもたちの豊かな育ちに繋がるよう、地域の皆さんや学校、近隣保育園との交流を大切にしています。